

令和元年度 第2回学校関係者評価報告書

鳥取県立境港総合技術高等学校

校長 田 中 宏 明

評 価 日	令和2年2月25日（火）	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
1. 今年度の自己評価について (1) 重点目標の達成状況 ①「専門的資格取得の促進と魅力ある学科づくり」は特に成果が上がっている。鳥取県スーパー農林水産業士は、学力や資格取得で高度な取組で、地域人材の育成として評価できる。また、各科の資格取得状況は良好で、授業や補習の充実や企業・施設等での実習の取組の成果である。就職率や資格取得状況を考えると「キャリア教育の推進」の項目は、A評価が良いのではないかと考える。 ②地域との連携は、とてもよくやっている。土曜授業等実施事業や学校独自事業での企業や施設等との連携は大変よい取組である。今後も地域の活性化の一躍を担って欲しい。 ③保育園との交流や、保育園や地域住民との合同の避難訓練など、すばらしい取組を行っている。 (2) 説明・公表について ①学校の研究活動の成果が発表される課題研究発表会を参観した。各科の特色を生かした取組の発表は年々上達している。下級生や保護者がもっと参加できる日程を考えたらどうか。 2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について ①多くの事業が行われ、その取組の様子が、新聞やテレビでたくさん報道されている。地域に根ざした専門高校として各事業を有効に活用し、地域の人材育成、活性化に大いに貢献して欲しい。 3. 取組改善のための提言 ①学科間連携は、異分野を認知・理解する上で有益であるので、今後も継続・充実を図ってほしい。 ②企業や事業所との連携は有意義な取組であるので、継続して充実した取組として欲しい。		①専門人材育成重点校として、インターンシップや企業連携を充実させ、目標達成に向けての取組を一層強化する。 ②地域との連携を更に深め、地域活動に貢献できる人材育成を図る。 ③各科の特徴を生かした交流を今後も継続・推進していく。 ①地域や関係企業の方に多く参観いただき、学校への理解をより深めていただけるように、実施日や発表内容を検討する。 ①地域との連携や特色のある教育実践をメディアを通して発信し、学校教育の活性化を図る。中学校への発進方法を工夫したい。 ①科連携を生かした学習を通して、教育の充実を図る。 ②インターンシップや事業所見学の事前事後指導を充実させ、職業観・勤労観を育成する。